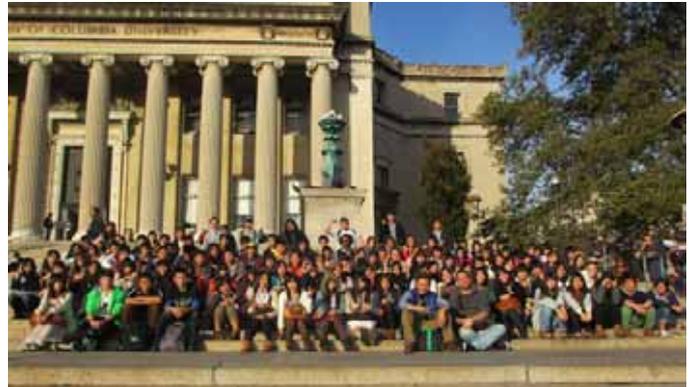


総勢600名の被災地高校生が全米で復興状況を紹介

3月5日と3月17日に渡米～「キズナ強化プロジェクト」～第4・5陣

国際交流基金日米センターは、被災地と米国の高校生が相互交流を行う「キズナ強化プロジェクト」を実施しています。



日本側からの派遣第4陣、5陣として宮城、岩手、福島、茨城の総勢612名がアメリカに滞在し、ワシントン D.C.、シアトル、サンフランシスコほか全米各地の学校での交流活動やコミュニティイベントなどに参加します。自身の被災体験や町の復興状況に関するプレゼンテーションを通して米国市民の震災への理解を深めると同時に、昨夏に同プロジェクトで日本を訪れたアメリカの高校生と一緒に、いま、自分たちに何が

できるかを考え、被災地の復興に繋げることを目指します。

昨夏に被災地に招いた米国の高校生の家庭に、今度は被災地の高校生がホームステイを行い、次世代を担う日米の若者同士の絆も深めます。(※渡米人数には、引率教員を含みます。)

【第4陣】

- 日程 : 2013年3月3日(日)～3月17日(日)
- 参加高校 : (青森)県立三沢高校、国立八戸高専、(岩手)県立大槌高校、県立不来方高校、私立専修大学北上高校、県立前沢高校、(NPO)次代の創造工房
- 交流先 : オレゴン州、アーカンソー州、カルフォルニア州、ワシントン州、ジョージア州

【第5陣】

- 日程 : 2013年3月15日(金)～3月29日(金)
- 参加高校 : (宮城)県立黒川高校、県立農業高校、仙台市立仙台高校、県立多賀城高校、県立仙台二華高校、私立東北工業大学高校、県立仙台第一高校、県立古川黎明高校、東北学院高校、(岩手)私立盛岡中央高校、県立水沢高校、県立久慈高校、(福島)県立郡山高校、私立石川高校、(茨城)県立太田第一高校、県立並木中等教育学校、私立茨城高校、私立茗溪学園高校、(NPO)次代の創造工房
- 交流先 : ミシガン州、ニューヨーク州、アラスカ州、デラウェア州、コロラド州、ネブラスカ州、フロリダ州、ワイオミング州、ニュージャージー州、マサチューセッツ州、ノースカロライナ州、カルフォルニア州、イリノイ州、ジョージア州、バージニア州、ミネソタ州

「キズナ強化プロジェクト」について

東日本大震災の被災地復興支援として行われる、日本とアジア・大洋州地域および北米地域との青少年交流事業です。約1年の間に対象地域の高校生・大学生など約1万人を日本に招き、被災地の青少年1,300名を北米に派遣します。日本再生に関する外国の理解を深めるとともに、原発事故などをめぐる風評被害に対して効果的な情報発信を行うことを目的に、日本政府(外務省)により進められています。



お問い合わせ: 国際交流基金 日米センター(CGP) 担当: 吉田、古屋
TEL: 03-5369-6072 E-mail: kizuna@jpf.go.jp

